子どもの日本語教育研究会 第11回大会
2026年2月28日（土） オンライン

実践発表

日本語指導入門期における「気持ちを伝える言葉」の指導実践

―低学年児童の思いに寄り添う指導を目指して―

加藤 淳子（熊本市立城南小学校）
鹿嶋　　恵（崇城大学）

発表内容

1. 実践の背景と目的
2. 実践の内容
3. 実践後の聞き取り調査の結果
4. まとめと今後の課題

〈参考文献〉

イラスト © Mai K.

1．実践の背景と目的

1.1. 実践の背景

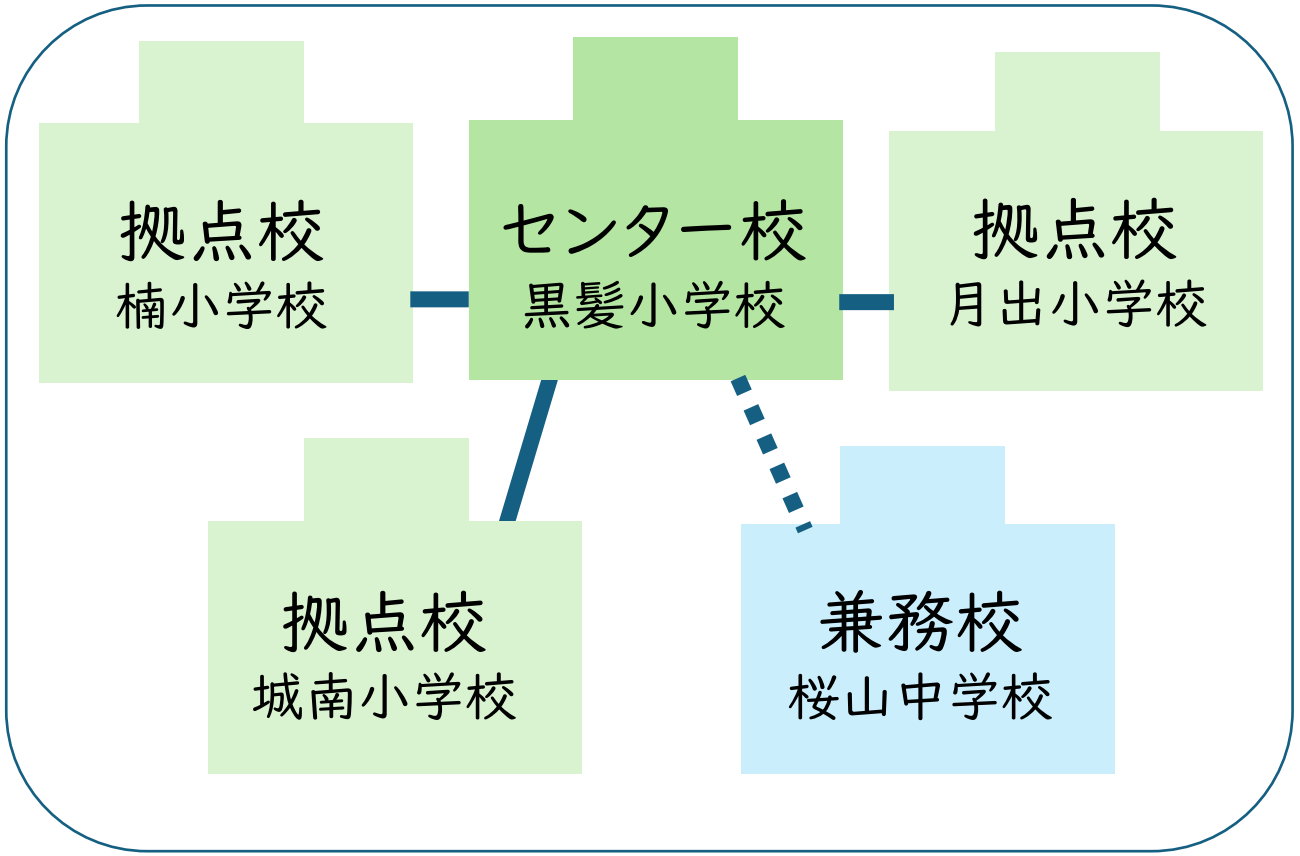
1.2. 実践の目的

熊本市の日本語指導体制

通級指導（拠点5校に在籍の児童生徒）

派遣指導（他校に在籍の児童生徒）

公立小・中学校 **5校**に拠点



指導方法　主に個別取り出し

▼**初期指導**　2～3か月程度

週4～6時間程度

日本語指導や生活適応指導等

▼**定期指導**　2年程度

週2～4時間程度

日本語指導を継続

参考◇熊本市教育センター
https://www.kumamoto-kmm.ed.jp/

1.1. 実践の背景

初期指導の教材

●サバイバル日本語の教材集

『はじめての日本語〈はじめの5課（入門期）〉』

熊本市の教員らが独自に作成

児童が自らの感情や気持ちを表す表現

「痛い」「好き」「嫌い」「おいしい」etc.

▲「気持ちを伝える言葉」

◆サバイバル日本語の4つの観点の内容を5課に配列

cf. 文部科学省（2019）

1課：自己紹介、先生の名前、基本挨拶、学用品 etc.

2課：時刻、位置、色、イ形容詞 etc.

3課：基本の教室言葉、教科、日付、曜日 etc.

4課：身体部位、校内の特別教室名称 etc.

5課：給食関係の言葉、掃除関係の言葉 etc.

cf. 佐藤(2015)

1.1. 実践の背景

課題1

初期指導後の日本語指導で

「気持ちを伝える言葉」を
十分に学ぶまでには
時間がかかる！

例）形容詞の初出課
- 『こどもの日本語1』　第8課
- 『みえこさんの日本語』第19課

課題2

受入れ後 数か月も経つと…

- **友人関係の形成**が進む
- 誤解等による**トラブル発生**
- 本人のみならず
  周囲の児童や 大人にも
  心理的負担が生じる場合

1.1. 実践の目的

課題1＆**課題2**を **回避／軽減**するためには…

受入れ時の**早い段階**から 児童が**自分の 気持ちや感情**を
日本語で表現できる ようにすることが 必要!

▼

「気持ちを伝える言葉」の指導を 計画・実践

目的 **入門期**の児童が
自分の気持ちを伝える
日本語力の習得

本発表の報告内容

- ▼**実践内容**
- ▼実践後の **聞き取り調査**の結果
- ▼**考察**

２．実践の内容

2.1. 実践の対象児童

2.2. 実践の方法

1)「気持ちを伝える言葉」の選定

2) 教材･教具の作成

3) 指導手順

4) 指導過程

2.1. 実践の対象児童

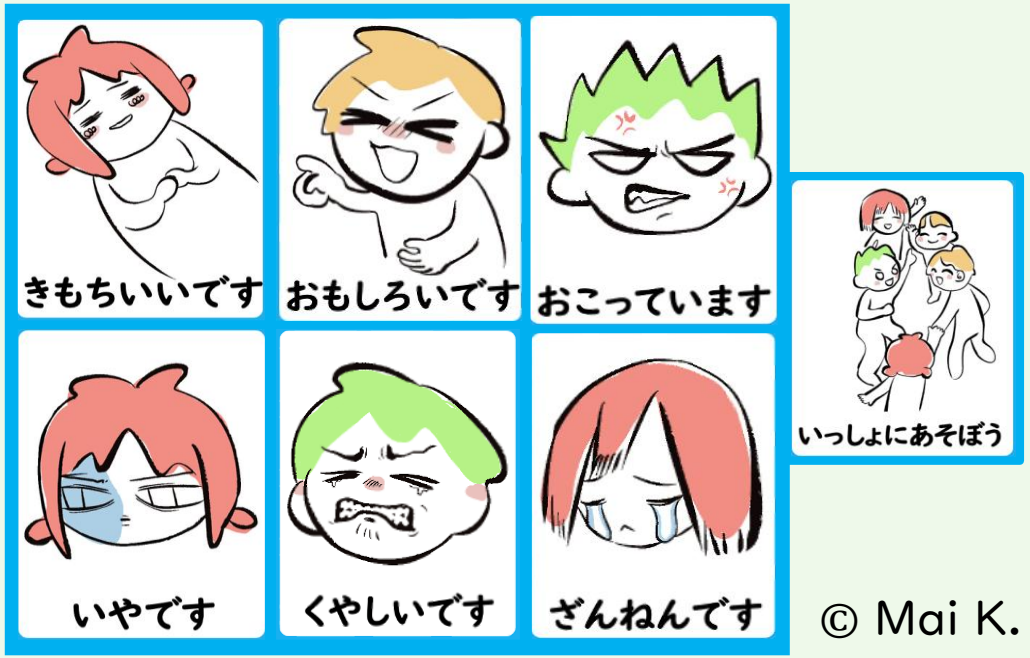
	児童A	児童B	児童C	児童D
編入学年	1 学年	1 学年	1 学年	2 学年
母語（＝家庭での使用言語）	ベトナム語	ネパール語	ネパール語	ベトナム語
来日時の年齢	7歳0ヶ月	4歳0ヶ月	2歳6ヶ月	8歳3ヶ月
来日後の年月	0 か月	2 年 4 か月	再来日後 4 年0ヶ月（日本生まれ・一時帰国後 2 歳半で再来日）	0 か月
編入前の就学状況	母国で小学1年修了（2022/8～2023/5）	通園（年長時1年）	通園（年長時1年）	母国で小学2年修了（2023/9～2025/9）
日本語会話力	ゼロ	若干	挨拶のみ可	ゼロ
日本語の文字の習得	無	無	無	無

6 語
学級での**作文活動**や
児童間でよく使用する言葉

© Mai K.

＋

7 語追加
この 6 語では**表しきれない**
気持ちや態度



© Mai K.

「気持ちを伝える言葉」のカードの作成

言葉の使い方を示す場面のイラスト（スライド）

「たのしいです」
のスライド例

© Mai K.

例「楽しいです」

①児童の困難な気持ちや
経験を**会話**で確認

②**スライド**を見ながら
場面や気持ちを想起

③**言葉カード**を使って
教員と児童間で会話練習

④[後日]**振り返り**と
使用状況の**確認**

学校は
楽しいですか？

何か**困ったこと**や
嫌だったことが
ありますか？

〇〇は
好きですか？

△△は
楽しいですか？

私も**好き**です。
〇〇は**楽しい**です。

他にも
ありますか？

言った言葉が
ありますか？

他にも
ありますか？

どんな気持ち
でしたか？

2.2.実践の方法　4)指導過程

指導前の様子

児童A

- 意思疎通が不十分
- 誤解からトラブル発生
- 周囲への不信感

児童B

- 友達との関係作りに難しさ
- 一人遊びが多い
- 学習意欲に波

指導中の様子

22週目（来日後６ヶ月）に
６語導入（その後担当教員交代）

・**「やめて」**には強い思い
・それぞれの言葉の**エピソード**を話す
・**表情が明るく**なってきた

3週目（来日後2年6ヶ月）
から1回1語で13語導入

・**学習態度**に波
・様子を見ながら**1語ずつ**導入
・**20週**かけて13語終わる

2.2.実践の方法　4)指導過程

指導前の様子

児童C

- 「時々自分の気持ちを抑えられない」
- じっと座るのが苦手

児童D

- 学習意欲が高い
- 友達と楽しく遊ぶ
- 言葉の壁にもどかしさ

指導中の様子

3週目（再来日後2年6ヶ月）に13語一括導入

- **離席**が多い
- **体を使って**覚えていく
- 「泣きたくなると**涙を止められない**」

5週目（来日後2ヶ月）から2回に分けて13語導入

- 学習に意欲的
- **サッカーと結びつけて**会話練習
- 「一緒に遊ぼう」の**成功体験**

表１「気持ちを伝える言葉」の指導：実践前後の状況や気持ちの変化

		児童A	児童B	児童C	児童D
実践前	困難さ／状況	意思疎通が不十分で、学級内で誤解からトラブル発生。周囲への不信感。	友達との関係作りが難しく一人遊びが多い。発話が少なく学習意欲に波。	「時々自分の気持ちを抑えられない」と本人から報告あり。	学習意欲は高く友達と一緒に楽しく遊ぶが、自分の思いを伝えられない。
実践時	時期	受入れ後22週目	受入れ後3週目～	受入れ後3週目	受入れ後5週目～
	導入語	6語（※その後担当教員交替）	13語（1回1語）	13語（一括）	13語（2回に分割）
実践後	調査段階	6語指導の4週後	13語指導の3週後	13語指導の3週後	13語指導の1週後
	児童からの回答	よく使う。気持ちが落ち着いた。言葉を学んで、相手の気持ちも考えるようになった。	先生には使ったが、友達にはまだない。	勇気を出して言うことができた。友達もできた。気持ちが落ち着いた。	「一緒に遊ぼう」はよく使うようになった。これからもっと使うと思う。楽しくなると思う。
	在籍学級担任から見た変化	まだ教員の指示が通らないことがあるが、友達とのトラブルがぐっと減って、穏やかになったように感じる。	自分の気持ちを少し言えるようになった。自ら担任に話しかけるようになった。友達と遊ぶ姿も見るようになった。	以前は毎日のように学級内で小さな争いやトラブルが生じていたが、それらが減少し、本人も落ち着いてきた。	「学校は楽しい」といつも言っている。

３．実践後の聞き取り調査の結果

3.1. 児童からの回答

3.2. 在籍学級担任から見た変化

3.3. 考察

3.1.児童からの回答

指導前の様子

児童A

- 意思疎通が不十分
- 誤解からトラブル発生
- 周囲への不信感

６語指導の４週間後
（日本語で聞き取り）
※その後担当教員を交代

・よく使う
・言われていた**意味が分かった**
・**相手の気持ち**も考えるようになった

児童B

- 友達との関係作りに難しさ
- 一人遊びが多い
- 学習意欲に波

１３語指導の３週間後
（日本語で聞き取り）

・**少し言えるようになった**
・友達には、まだ言っていない
・少し怖い

3.1.児童からの回答

指導前の様子

児童C
- 「時々自分の気持ちを抑えられない」
- じっと座るのが苦手

児童D
- 学習意欲が高い
- 友達と楽しく遊ぶ
- 言葉の壁にもどかしさ

13語指導の3週間後（日本語で聞き取り）

- **勇気を出して**「一緒に遊ぼう」
- **友達**もできた
- 気持ちが**落ち着いた**

13語指導の1週間後（日本語と一部通訳アプリで聞き取り）

- **よく使う**
- これからももっと使いたい
- **楽しくなる**と思う。

3.2.在籍学級担任から見た変化

指導前の様子

児童A

- 意思疎通が不十分
- 誤解からトラブル発生
- 周囲への不信感

・よく使う
・言われていた**意味が分かった**
・**相手の気持ち**も考えるようになった

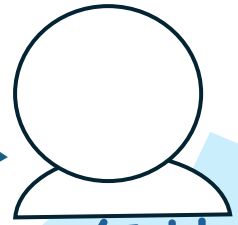
Aの学級担任

・友達とのトラブルがぐっと減った
・笑顔が増えた
・穏やかになった

児童B

- 友達との関係作りに難しさ
- 一人遊びが多い
- 学習意欲に波

・**少し言えるようになった**
・友達には、まだ言っていない
・少し怖い



Bの学級担任

・気持ちを少し言えるようになった
・自分から話しかける姿
・友達とも遊ぶ姿

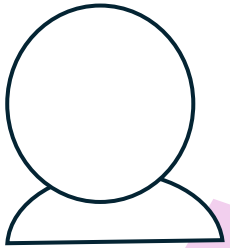
3.2.在籍学級担任から見た変化

指導前の様子

児童C

- 「時々自分の気持ちを抑えられない」
- じっと座るのが苦手

・**勇気を出して**「一緒に遊ぼう」
・**友達**もできた
・気持ちが**落ち着いた**



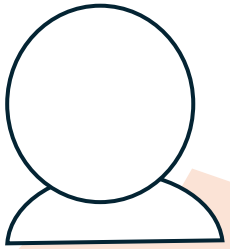
Cの学級担任

・トラブルが減少
・仲良く遊ぶ姿
・本人も落ち着いてきた

児童D

- 高い学習意欲
- 友達と楽しく遊ぶ
- 言葉の壁にもどかしさ

・**よく使う**
・これからももっと使いたい
・**楽しくなる**と思う



Dの学級担任

・「学校は楽しい」といつも言っている
・友達とのトラブルもない

3.3. 考察

入門期の早い段階で**「気持ちを伝える言葉」**を指導

▶**学級への適応や 対人関係の形成**に 有効な手立て

▶**日本語・教科学習の支え** にも つながる

▼

自分の気持ちを伝える
日本語力の習得 へ

４．まとめと今後の課題

4. まとめと今後の課題

まとめ

目的 入門期の児童が**自分の気持ちを伝える日本語力**の習得

実践・報告 「**気持ちを伝える言葉**」の指導実践の内容と成果

今後の課題

■ 選定した **13語の妥当性**の検証と **指導方法**の更なる検討

■ **低学年**児童の **発達段階**や **経験**に即した **提示方法の工夫**
特に 抽象度の高い表現 (「楽しい」「嬉しい」etc.)

今後も児童の気持ちに寄り添いながら
より効果的な指導方法を模索していきたい

〈参考文献〉

- ひょうご日本語教師連絡会議,子どものにほんご研究会著, 西原鈴子監（2002）『こどものにほんご1』スリーエーネットワーク
- 鹿嶋恵・石川博子著, 三重県国際交流財団編（2024）『第3版 いっしょにまなぼう みえこさんの にほんご』(公財)三重県国際交流財団（http://www.mief.or.jp/jp/mief_kyozai.html）
- 文部科学省（2019）『外国人児童生徒受入れの手引【改訂版】』明石書店
- 佐藤龍子（2015）「小学校における指導」熊本県立大学文学部日本語教育研究室編『第 10 回帰国・外国人児童・生徒の日本語の先生と担任のための研修会 成果報告書』pp.3-7.

ご清聴ありがとうございました

© Mai K.